

分館運動会・レクバレー大会

4月21日(日)から5月12日(日)の日曜日に、各分館で、運動会やレクバレー大会が開催されました。



▲力を合わせて！(塩屋)



▲急いで！急いで！（恵久美）

▼空き缶、いくつつめるかな？(大間)



▲息もピッタリ
(北川原)



▼親子で楽しく(西古泉)



▲みんなでがんばれ！（昌農内）



▲心を一つにしてジャンプ！（西高柳）



▲みんなで楽しく(上高柳)

感覚を大切に

岡田中学校教諭 仲神正人

平成8年5月、「松前町明るい人権の町づくり大会」で北伊予中学校の生徒による人権啓発劇が上演されました。それを見た本校の生徒会本部役員は、初めて見る人権啓発劇に感激していました。その時の生徒会長が

「先生、僕たちもやってみたい。」と言ったことがきっかけになり、その年の文化祭で発表できるような人権啓発劇を作ろうということになりました。

夏休みから脚本の制作に入りました。その年は、はじめのニュースがたくさんあり、内容はじめに関するものに決まりました。運動会終了後すぐに、劇団員を募集しました。20名ほどの生徒が集まり、練習が始まりました。放課後延長練習などをして、11月に文化祭で発表しました。劇が終わった後大きな拍手が起こり、やり遂げたことの喜びと感激で、劇にかかわった生徒たちがみんなで泣いたことを今でも覚えています。

平成9・10年度は、同じじめをテーマにした人権啓発劇を文化祭で発表しました。中には、9月になると、「今年は何をするんですか、今年もやりたいんですけど」と催促してくる生徒もいました。

文化祭での人権啓発劇が定着してきたころ、「平成11年度松前町明るい人権の町づくり大会」で本校が人権啓発劇を発表することになりました。これを機会に岡田中学校にも人権啓発活動を進める組織として、生徒会の中に人権委員会を作るようになりました。

生徒の自主的参加による人権委員会が誕生して3年がたちます。生徒たちは現在も今度は何を伝えようかと考えています。私は、常に新鮮で鋭い感覚を持って活動する生徒たちに教えられてきました。「いつまでも古い考えに惑わされてちゃだめですよ。」周囲に惑わされず、常に新鮮で鋭い感覚でいたいものだと思います。今日このごろです。